

「ファーストペンギン」

みなさんはファーストペンギンという言葉を知っていますか？これはビジネスの世界でよく使われる言葉です。

南極に住むペンギンは、普段は群れで陸上で暮らします。彼らはエサである魚を獲るときに海中に飛び込みます。しかしそこにはシャチやアザラシといった大型の恐ろしい天敵が待ち受けているかもしれません。なのでペンギンの群れはなかなか海に飛び込むことはしません。しかし、一羽のペンギンが勇気を出し、海に飛び込めば、後に続けとばかりに次々と海にエサを求めて飛び込んでいきます。最初の一羽のペンギンは、襲われるかもしれないというリスクを引き受け、仲間に海が安全であることを示すと同時に、他のペンギンよりも確実におなか一杯魚を食べることができるのです。

このように、ビジネスの世界ではこれまで誰も踏み込んだり、経験したことがない領域に挑んだり、イノベーションを引き起こし成功したベンチャー企業の創業者などを「ファーストペンギン」と呼ぶそうです。有名なところではアップルのスティーブ・ジョブスやマイクロソフトのビル・ゲイツなどがあげられます。日本では松下幸之助などでしょうか？

彼らに共通するのは、「失敗を恐れず行動した」ということです。SNSの発達で沢山の情報がいつでも手に入り、世界中の人々といつでもつながれる時代の中、つつい行動することが後回しになっていないでしょうか？例えば9年生は進路を考える際、頭の中で考えてばかりより、とりあえず1つでも2つでも多くの高校の体験学習に成果があがるのではないのでしょうか？きっと、見える風景が変わってくると思います。

まずは行動！「ファーストペンギン」を見習ってみてください。